

平成 30 年度 奈良県教育長賞

税とは

奈良県立奈良情報商業高等学校 一年 宮本 鈴華

私は中学校二年生まで、何のために税があるのか、そして集まった税は、一体何に使われているのか全く知りませんでした。

買い物をするとついてくる消費税なんて、なければいいのにと感じていました。でも、いろいろ調べてみると、税は私達に必要なことに使われていることが分かったのです。

そもそも税を納める意味を調べてみると、税は、「水道」「道路」「学校」「病院」など、私達になくてはならないものに使われています。もしも私達が税を納めるのを「やめた！」と言ってやめてしまうと、いろいろなサービスがストップしてしまいます。水道から水が出なくなったり、道路の舗装がストップされ、車や自転車も通れなくなり、学校で勉強ができなくなり、けがをしても、けがを治してくれる病院がないという状況に陥ることになるのです。

また、消費税や所得税など以外にも、ガソリン税や酒税、たばこ税などいろいろ税の種類があることを、調べてみると分かりました。

酒税やタバコ税はメーカーから出荷した時点で、メーカーが納税義務者として支払い、お酒を買った時点でお店に税金の負担者として支払うシステムになっています。この税は主に地方公務員の人件費に使われていて、お酒の税金が公務員のお給料になっていると知り、私はとても驚きました。

ガソリン税は、正式には揮発油税と言って、百円分のうち、およそ六十パーセントが税金です。主にそこで納められる税金は道路関係に使われています。このガソリン税で一番驚いたことは百円分で、およそ四十パーセントがガソリン代で、残りの六十パーセントが税金だということです。これを知った瞬間、ガソリン税は、タバコ税や酒税よりも高いんだろうなと思いました。

他にも、「警察」や「消防」「ごみの収集」「図書館」「美術館」「災害復興」などにも税が使われています。もし税を誰も納めなくなったら、国中の治安が悪くなったり、災害が起こった後の復興ができなくなったりとってしまう恐れがあります。そう考えると、税は私達にとってとても必要なもので、なくてはならないものだと思います。

今まで「税について知りたい」や、「税金は必要」と思ったことは一度もありませんでしたが、いろいろ調べてみて、税のことがよく分かりましたし、税金は納めた方が私達がよりよく暮らせることを学ぶことができました。

税金によって、私達はいろいろな面で支えられていることをしっかりと理解をして、これから生活をしていこうと思いました。